



ごあいさつ

三月三日「ひな祭り」は、女の子の健やかな成長と幸せを願う行事として、日本人が真心をもつて伝えてきた習わしです。子どもを慈しむ心と高い美意識とが、これほど見事に融合したお祭りは世界でも類を見ません。この愛と和の心の結晶である「ひな祭り」が、老若男女問わず、広くみなさまの心に届き育まれ、そして受け継がれますように。

ひな祭り文化普及協会では、この願いを込めて「三月三日を国民の祝日にする事」
「後の雛」を広島の観光行事にすること」をご提案申しあげます。

みなさまのご賛同を、署名にてご協力いただければ幸いです。

ひな祭り文化普及協会

代表 清川 紗衣



ひな祭り文化普及協会

HINAMATSURI Culture Promotion Association

〒731-0124 広島県広島市安佐南区大町東2丁目1-5-5
TEL 090-8998-7745 FAX (082)877-7175

Mail : info@hina-matsuri.jp

<http://hina-matsuri.jp/>

ホームページでぜひ！
素晴らしい日本文化【ひな祭りの世界】をご堪能ください。
みなさまからのご意見や感想をお待ちしております。



ひな祭り文化普及協会

みなさまへのご提案

🍵「ひな祭り」を国民の祝日に。

「ひな祭り」は人形の芸術性や祭り全体の行事から見ても日本文化の結晶であり、日本人が、その和のこころを親から子へ受け継いできた「絆」を育む伝統文化であります。

失われつつある多くの日本文化の中でも「ひな祭り」は和の人づくり、ひいては国づくりにもつながる大切な文化であり、それを日本の伝統文化として子供たちに伝えて行くことは私たち大人の責務であると考えております。

近年「ひな祭り」の行事は地域おこしとして全国各地で行われておりますが、これを今以上に国民行事として日本全国で活性化することにより、海外からの観光資源となる可能性を持つております。また、芸術性の高いひな人形は、海外において大変人気のある商材となっており、海外においても「ひな祭り」行事全体を含めて日本文化を海外に伝えていくツールとして非常に有効であると考えられます。

また五月五日は「こどもの日」と制定されているにも関わらず、端午の節句として男子の祝日であるという概念が強くあることから、三月三日を女子を中心とした祝日としても、少子化時代にあつては国民の理解を十分に得られるのではないかと思います。

このような主旨により、三月三日の「ひな祭り」を国民の祝日にご提案申し上げます。

🍵「後の雛」を 広島県の観光行事に。

「後の雛」とは菊をめでる重陽の節句九月九日にも雛人形を飾ったことをいい、別名「菊雛(きくびな)」ともいいます。

旧暦九月にあたる十月に菊花展などともに、全国各地に眠っているお雛様の名品の数々を美術館や旧日銀跡地など市内各地で展示し、毎年秋の広島恒例行事・観光の目玉として開催してはいかがでしょうか。

菊と雛人形からイメージされる美しく多彩な和のモチーフは国内外からの観光客を誘致し、土産物の食品・衣料・雑貨等広範囲にわたる産業振興となるのではないのでしょうか。

広島県の新しい観光行事に「後の雛」をご提案申し上げます。

(ご参考)

江戸時代、大名家の姫君の御婚礼道具として絢爛豪華な雛人形が数多く作られ、現在でも全国各地の商家や美術館で展示されています。

ただし、二月から三月開催のため同時期に他の美術館へ貸し出しは難しいのが現状です。「後の雛」は九月から十月の開催事業であり、最近では大阪府下富田林市にその例がみられます。

みなさまのご賛同を心から呼びかけます。

画像協力：頼山陽史跡資料館



賛同書

ご賛同いただける方はチェックして空欄にご記入ください。

- 三月三日を「ひな祭り」の日として国民の祝日とすることに賛同します。
- 「後の雛」を広島の新しい観光行事とすることに賛同します。

お名前	
団体名 または 会社名	
ご職業 または 肩書等	
〒	
ご住所	
メッセージ	
ご記入日	年 月 日

FAX (082)877-7175
MAIL info@hina-matsuri.jp

▶当會ホームページでも受付中です。

